

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

11

November, 2017

vol. 411

Contents

建築探訪...01

会員仕事紹介...03

支部だより...05

旅行記...07

全国大会報告...09

編集者のつぶやき...10



建築探訪

秦野の「近代たてもの」

秦野市内本町四つ角周辺にて、今年3月に宇山商事、8月に五十嵐商店所有の建物が国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。それらの昭和初期建築物を紹介します。（当支部会員も携わる大日堂も登録文化財となりました。）

○宇山商事 <店舗兼主屋>

関東大震災による被災後、昭和3年に再建されたのが、現建物といわれています（棟札）。外観は間口3間半×奥行き4間3尺5寸の上屋の前面に銅板葺きの4尺の下屋庇を設けており、上屋は切り妻、平入り、棧瓦葺きで、妻側外壁は下見板張り（現在一部トタン）となっている。



建物外観



下屋庇

1階軒は1段の出桁造り、2階は2段の出桁であり、1階根太天井高は3.6mで桁高は2.8mと立ちが高く、下屋部分には中間柱がなく、連続する6枚の硝子戸で構成されている。

1階内部の土間・床上境には、櫓の大黒柱に差鴨居を渡し、棧の細かな大阪障子が見受け

秦野支部 株式会社コイズミ一級建築士事務所
小泉 学



磨き漆喰壁（廊下）

られる。特徴的なのは、2階廊下も含めた壁を磨き漆喰としている点であり、色褪せない艶と当時の職人の技量が垣間見える。

奥行きの深い下屋庇と、通り土間が無く前土間のみとする等、関東町屋の典型が見てとれる。

○五十嵐商店

<店舗兼主屋（門柱付き）・第一倉庫・第二倉庫・第三倉庫・第四倉庫及び第五倉庫>

建屋群は、道路に面して南側に店舗兼主屋が建ち、北側に駐車場、その奥に第四及び第五倉庫が建つ。店舗兼主屋に連続する形で奥に第二、第一倉庫が続き、第一倉庫の南に第三倉庫が建っている。

店舗兼主屋は、震災後次々に建てられた木造和風建築に前面だけを銅版やタイルで装飾し洋風にした商店建築「看板建築」の代表作である。古典様式の総3階建ての矩形外観からは木造建築とは想像つかず、内部に入り土間と店框を見て、それと確認できる。



建物外観

正面は6本の柱型が装飾され、両隅の柱頭飾りは渦巻きに葉飾りを持つコリント式、1間間隔の柱身の柱頭にも渦巻き装飾が見られ、柱身は溝掘りが施してある。窓は縦長の上げ下げ窓であり、全体的に古典主義様式風となっている。



柱頭飾り

1階内部は、店舗間口には腰板付き硝子戸8枚が4本レールによる全開口式であり、雨戸は亜鉛鉄板張りでケンドン式となっている。

2階には、この建物唯一の洋室「応接間」がある。床は色モルタル、壁・天井は漆喰塗り、天井には照明飾りが付き、存在感を増している。



応接間

奥には屋根への階段があり、上がると秦野市内を一望できるステンレストタン張りの屋根が見られる。



屋根

第一倉庫は、木造2階建てで、主に畳表を、第二倉庫は、2階建てで、主に乾物を収納していた。共に店舗兼主屋と連棟して増築されている。第三倉庫は、菜種油、椿油、荏油を収納した平屋の油庫で、規模は小さいが、市内に油庫の遺稿はなく貴重な建築となっている。

第四及び第五倉庫

主に荒物を収納した平屋の倉庫である。外観は一つの建物であるが、内部控え壁で用途が分けられていたことからこの名称としている。

現在は内壁が取り払われ、間口4間×奥行き3間の倉庫が二つ繋がり、一つの空間となっている。下屋は2つの倉庫に連続配置され、両妻壁と内部控え壁上に柱を、その上に木造トラス梁が配置され、高天井の大空間を構成している。



倉庫内部

宇山商事は、現在も居住され1階等は一般に公開している。五十嵐商店は、建物の見学会開催や倉庫をホールとしての活用をすることで、各々建築の良さを伝えている。が、維持管理やその費用、新たな活用も含めて、歴史的建造物をまちづくりに活かす上での、課題を提示している。

会員仕事紹介

ネコ耳ハウスの秘密

設計事務所は何でもできて何でも一番であるという、設計事務所が理想に輝いていた頃を懐かしんでいるのは私ばかりではないでしょう。設計事務所が一番であったのは（50年も60年も前）私が学生になる前位の頃の話ですが、今では設計料よりも多額の賠償金を求められたり、量販店のスロープ崩落による事故において、設計事務所が厳しい責任を追及されるなどの以前では考えられなかった対応を求められています。設計事務所のあり方そのものを見直さなければならぬ時期に来ている事は十分に理解しているつもりですが、製図台からC A Dに変わり、ソフトもB I Mになり、天空率 Z E H・・・出来る事と出来ないことを明確にした契約作りなど、新しいことがどんどん増えてきていて、多分に設計とは違った方向の変革を求められ、何をどのように変えるべきか、当事務所はまだまだ暗中模索の状態です。出来ることからちよっとずつなど悠長なことは言うてはいられないのですが、すこしずつ進めていこうと思っています。

さて、じつ建築設計事務所の仕事紹介とこのことですが、小さな事務所ですが、お施主様に恵まれて、今日までやってこられました。仕事としては、揺り籠から墓場までと言うように、婦人科の病院から、お寺、墓地の設計まで幅広く設計させていただきましたが、大まかに分けて、1.保育園、幼稚園 2.住宅、共同住宅、3.病院、その他、公共施設などの仕事になります。その中でも2の住宅の中でニャンコ好きのお施主様との設計で、ニャンコを中心とした住宅の設計をさせて頂き、楽しいのに、設計料まで頂戴したという、わんこにゃんこ好きにはたまらない設計を紹介させていただきます。ネコ耳写真のお家は真ん中に階段があり、階段室の外に光庭を配置し、そこに猫専用の階段を設け、ニャンコは外の光庭からも二階に上がれ、上がった所には作り付けの棚があり、さらに上にいけるように棚板にニャンコが通れるくらいの穴をあけ、棚を上がり切ったところに、二階の居間の天井中央に梁を利用した、まさしくキャットウオークを

横浜支部 (株)じつ建築設計事務所 伊藤 実

設けそこに行けるようにしています。キャットウオークをそのまま歩いて行くと、外を眺めることが出来る窓が配置されています。ニャンコは一日中家の中で上下に自由に動き回れるように設計しました（猫は上下運動が好き）。各ドアはニャンコが通れるドアにしたことは言うまでもありません。小屋裏収納の窓とバルコニーの照明を利用し、屋根に耳をつけたネコ耳ハウスの模型を見てお施主様が気に入りネコ耳ハウスが実現しました。流石にヒゲまでは止めましようとの事でしたが、今から考えると、付けても良かったでしょうか。もう一つの住宅もおおよそネコ耳ハウスの工夫で成り立っていますが、T Vのある中央の壁にキャットウオークに上がって行かれるように棚を設けニャンコの上がり下がり姿をT V以上に楽しめるようにしています。ニャンコとは別ですが、洗面器は鎌倉在住の陶芸家の作品を洗面器に改造して利用させて頂いています。

35年近く設計している、私のライフワークである、小田原のれんげ幼稚園は又の機会が有りましたら紹介させていただきます。





支部だより

相模原支部紹介

相模原支部 杉本 勝郎

相模原支部恒例の研修旅行は、今回日事連の全国大会（和歌山大会）参加を兼ね 古都奈良と紀ノ國の高野山に行って来ました。

大会前日の10月5日 昼前に電車にて奈良に到着。若草山の麓で昼食後、薬師寺が最初の目的地です。



若草山をバックに

5

薬師寺は、修学旅行のメッカとしてほとんどの人が訪れたことがあると思いますが、昭和51年金堂の再建以来、昭和56年の西塔、平成15年の大講堂と再建が続き、今年5月の食堂「じきどう」の完成を持って一大プロジェクトが完了しました。



食堂

じっくり2時間半かけて境内を鑑賞し一日目を奈良の宿で締めくくりました。

明けの10月6日は、元興寺、東大寺を見学した後貸し切りバスで一路 和歌山に向かいます。



大会会場前にて

大会式典では、今回当支部 前支部長の永田さんの永年功労賞受賞もあり喜びもひとしおです。記念パーティーでも総勢13名相模原支部ここにありと、気炎を上げ和歌山に2泊目です。

翌10月7日は、貸切バスにて山上の宗教都市「高野山」に。

金剛峰寺、大門、金剛三昧院を楽しみ昼食後奥の院にて20万基に至る墓石、墓標、慰霊塔の中 歴史上人物の墓標にしばし足を止め時間が過ぎるのが早く感じました。



高野山 根本大塔

14時過ぎには新大阪に向け出立し19時には新横浜到着。研修旅行も解散となりましたが支部会員相互の親睦を深め色々な体験を共有出来たことが一番の土産とし帰路につきました。

支部だより

県央ブロック協議会の成立と活動

県央ブロックは、厚木、大和・綾瀬、海老名、座間、愛川の5支部から構成しています。

(社)神奈川県建築士事務所協会が40年前に設立した当初は県央支部として組織していたと聞いています。

昭和60年くらいから各行政区ごとに分離し、支部活動を行っていました。当時は、役員改選や、本会行事の役割等の話を各支部長が集まって会合していました。

平成15年、当時の各支部長間で“先ずは楽しく会合を開きませんか”の提案の元、県央ブロック協議会を発足し、本会理事・本会委員会等役員全委員で県央ブロックを運営し、ブロック運営費・各支部負担金についても会員一人当たりの計算で運営費に充てました。

現在も、定期的に会合を開き、多い時は20数名を超えることも…多く集まれば、楽しいことも、問題点等も話し合って議論に花を咲かせます。

ある支部が、講習会をしたいが人が集まらなと問題点を提示すると、それなら県央ブロックでまとまってやったらどうか、、、今では本会の協力もあって、多くの方に参加してもらい個々のスキルアップにつながっています。

県央ブロック協議会では、賛助会の皆様との交流を盛んに行っています。展示会、研修旅行、講

平成29年度県央ブロック長 中山 裕次

習会をはじめ賛助会の力を借りて楽しく活動しています。情報交流やPRする機会があることが県央ブロック協議会のメリットとなっています。

県央ブロック長は1年ごとの持ち回りで行っていますが、どうやったら人が集まって楽しくできるのか、スポーツ大会の昼食時にバーベキュー、スーパー銭湯で裸の付き合い等、毎年会員との交流を考えています。

私は神事協に入会して20年経ちますが、支部長もブロック長も初めてです。歴代の方々の功績を見てきた私に何ができるのかなと、、、

自社の現場見学会をやってきましたが、全然人が集まらなかったこともありましたが、他の事務所も同じ悩みを抱えているところがあるのではないかと、現場見学会はお施主さんと工務店側の理解がないと出来ませんが、実際に現場を見ることはとてもいい勉強になるのではと思います。

そこで県央ブロックのネットワークを活用してはどうか、、、人が集まれば賛助会の皆様のモチベーションも上がりますし色々な意見も出て今後の事業に繋がるのではと感じています。

今後も県央ブロック協議会は組織を活用して会員のスキルアップの受け皿になるよう努めてまいります。



県央ブロック協議会



県央ブロック講習会



県央ブロック総会



H15県央ブロック講習会

旅行記

日帰り ぶらっと甲府

相模原支部 石川 勝彦

私の住む神奈川からならお隣の県、山梨。ぶらっと日帰りで行って来るには充実のスポットだ。ほうとうが食べたくなって思いつきで出かけても、十分に楽しめる。

開通してまだ間もない圏央道から中央高速へ乗り継ぎおよそ2時間。甲府城に到着。平日にもかかわらず、ボランティアガイドの方が一緒にまわってくれる。丘の上に建つ甲府城は別名舞鶴城とも呼ぶそうで、甲府といえば武田信玄だが、信玄亡き後豊臣秀吉の命で築城されたそうである。浅井長政・幸長父子が完成させてからも江戸城に近いという立地条件から重要な城であった。

現在は中央本線甲府駅の目の前にあるが、築城当時はこの甲府駅の向こうまで約20ヘクタールという広大な城郭だったそうだ。

さらに上へと歩を進めて行くと、鉄門跡・銅門跡の礎石を見ることができる。本丸天守台跡石垣もあるが、ボランティアガイドさんによると、実際に天守があったかどうかは資料がなくわからないとのことであった。



今度は城跡の下に下りると、築城当時の石切場跡がそのまま残っている。



これは全国的にも大変珍しいそうだ。豊臣秀吉が、石工の技術者集団で有名な穴太衆(あのうしゅう)を呼びよせ作らせたとのことだ。石垣のあちらこちらに穴太積みやノミの痕が今もはっ

7



鍛冶曲輪門から入ると坂下門石垣が見えてくる。積まれた石の形状で、時代の異なる石垣の様子を見比べることができるポイントである。



きり残っている。

こんなに見所満載なのに、入場料はなんと無料。ガイドまでしていただき、充実した見学ができた。



歴史の学習が終わると、お楽しみのランチ。今回はガイドさんのお勧めで、甲府駅前の『奥藤本店』さんでいただいた。甲府城からも徒歩10分程度。ちょうど昼時だったので、出張中と思しきビジネスマンや地元の家族連れなどでにぎやかな店内。甲府のご当地グルメとして定番となった鳥もつ煮の発祥店との触れ込みだったが、今回は見送り。お目当てのほ

うとうは、米麴味噌と麦麴味噌をミックスした合わせ味噌。一緒に煮込む野菜は季節ごとに、地元山梨で収穫した野菜が使われるそう。だ。まろやかな口当たりで、あっという間に完食した。そして山梨といえば、馬肉。ということで、今回は刺身でいただいた。弾力のある赤み。ビールによく合う。



観ても良し、食べても良し、楽しい一日であった。

全国大会報告

日事連全国大会 和歌山大会

横浜支部 副支部長 梅原 義信

10月6日、紀州和歌山の自然と歴史を大いに感じさせる和歌山城とその近郊。そこにある県民文化会館において、第41回日事連全国大会が行われました。

大会テーマは「時を紡ぐ明日へと～歴史・文化・自然～」で基調講演、パネルディスカッション、大会式典、そして会場を別にした青年話創会（懇親会）、記念パーティーの構成でした。

基調講演は藤森照信氏の「歴史と文化と自然を活かした建築」と題した講演で、草屋根、高過庵等のご自身の作品の映像を使って分かりやすく解説されました。また、パネルディスカッションは「木の国で語る」と題し、コーディネーターは原田浩司氏、パネラーは藤森照信氏、本多友常氏、腰原幹雄氏、安井昇氏と錚々たるメンバーで分かりやすく、ユニークなものでした。大会式典は来賓、大会役員、単位会の紹介や表彰、青年話創会報告、第43回開催地会長挨拶等が行われました。

この中の表彰では平成29年度年次功労者表彰者として全国で34名が単位会から推薦され、神奈川県からは永田健治氏が表彰されました。また会員増強単位会表彰として神奈川県を含む4つの単位会が選ばれ、白井会長が表彰されました。

記念パーティーは歓迎挨拶、来賓紹介、鏡開き、第43回開催地である福島会のPR、そしてアトラクションとして和歌山県出身で演歌歌手の田川寿美ステージが用意され、紅白での歌をはじめ、多くの歌を披露していました。地元の料理、新鮮な刺身、樽酒はとてもおいしく、プロの演歌も心地よく、盛大で和やかなものとなりました。

全国大会の翌日は各支部が色々な企画をしていましたが、横浜支部は「和歌山の建築 黒川紀章を巡る」と題したバス見学ツアーを行い、10月12日に10周忌になる黒川紀章氏の晩年の代表作と和歌山の自然、文化との関係性を実感することができました。

全国大会は次回が東京（帝国ホテル）、その次が福島、それ以降は各単位会を廻るとの事で、支部のバス見学ツアーもこれに絡め、全国を廻れたらと思いました。



自然と歴史を感じさせる会場近郊



県文小ホールでのパネルディスカッション



県文大ホールでの大会式典



ホテルアバローム紀の国での記念パーティー

新入会員のご紹介

10月入会者

藤沢支部

株式会社ネクストイノベーション一級建築士事務所 米山 幸男
〒251-0001 藤沢市鵠沼石上1-7-1 ケインズタワー3F
TEL.0466-86-7022 FAX.0466-25-8223

退会者

横浜支部

ナイスホーム株式会社一級建築士事務所 清水 勝

川崎支部

株式会社原尚一級建築士設計事務所 原 尚

茅ヶ崎寒川支部

北野建築工房 北野 義夫

変更

横浜支部

一般社団法人かながわ土地建物保全協会
(指定代表者変更) 菅家 龍一

株式会社京浜建築設計事務所
(所在地変更) 〒232-0011 横浜市中区日枝町3-8-6

寺田一級建築士事務所
(所在地・TEL変更) 〒221-0834 横浜市神奈川区台町7-2ハイツ横浜514
TEL.080-5441-7293

株式会社日興タカラコーポレーション一級建築士事務所
(指定代表者変更) 阿部 章一

to Design
(TEL変更) TEL.045-951-2940

川崎支部

有限会社折笠幸男建築設計事務所
(所在地・TEL・FAX変更) 〒210-0001 川崎市川崎区本町1-9-8
本町パステルコート703
TEL.044-272-7940 FAX.044-272-7946

エス・イー・エス岡田コンサルティング株式会社一級建築士事務所
(所在地変更) 〒215-0021 川崎市麻生区上麻生6-32-10-304

おんだ建築事務所
(TEL・FAX変更) TEL.044-712-2838 FAX.044-712-2838

サトーホーム二級建築士事務所
(事務所名称変更) 旧) 株式会社サトーホーム二級建築士事務所

株式会社田設計事務所
(所在地変更) 〒210-0023 川崎市川崎区小川町8-21

秦野支部

滝口建築設計一級建築士事務所
(所在地変更) 〒257-0012 秦野市西大竹300-1-101

厚木支部

積水ハウス株式会社神奈川シャーマン支店一級建築士事務所
(所在地・TEL・FAX変更) 〒243-0436 海老名市扇町3-6
MACセントラルビル3階
TEL.046-236-6711 FAX.046-232-8777

賛助会新入会員

平成29年度入会者

コニシ株式会社横浜支店
二宮木材株式会社
日新製鋼建材株式会社

会 勢

支部名	平成29年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	265	262	5	8	-3
川 崎	107	108	4	3	1
横 須 賀	51	52	1	0	1
湘南三浦	18	18	0	0	0
藤 沢	34	37	4	1	3
鎌 倉	40	41	2	1	1
茅ヶ崎寒川	18	17	0	1	-1
平 塚	21	23	3	1	2
秦 野	19	18	0	1	-1
伊 勢 原	7	7	0	0	0
大和綾瀬	19	19	0	0	0
厚 木	33	32	0	1	-1
座 間	15	15	0	0	0
海 老 名	16	16	1	1	0
愛 川	7	7	0	0	0
相 模 原	72	72	0	0	0
県 西	41	40	0	1	-1
合 計	783	784	20	19	1
賛助会員	84	84	6	6	0

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

以前、このつぶやきに哲学者西田幾太郎博士記念歌碑をとりあげ、鎌倉での坂倉準三の仕事を紹介させていただいたのだが、あれから1年、神奈川県近代美術館鎌倉館の周辺は静かだ。残るといことが決まって以来、メディアに登場することも減り、皆の関心事からも薄らいだ状況のように思えるが、当のご本人は少し姿を変えられたようだ。2016年の1月31日に一般公開は終了し、3月31日をもって閉館、同年11月には「神奈川県指定重要文化財（建造物）」に指定され、さらに坂倉準三建築研究所で設計された新館と、学芸員棟が除却され、鶴岡八幡宮平家池に浮かぶ小島から望む姿は竣工当初の佇まいになっている。

建築関係者からみれば一連の流れはとても大きな事柄であったのだが一般的には必ずしもそうではなかったようにも思われる。子供の頃からそこに当たり前のよう存在したのだが、「一回も行ったことなかった」、という声も結構聞かれ、その後の使われ方に対する話題も地元では特にない。もちろん今後の在り方は所有者が決めることでとやかく言えることではないのだが、まわりが常に注目していることを発信することが大切だと思われる。

公立美術館としては終了したが、是非リニューアルして復活し、私たちの前に戻ってきてくれることを期待したい。

池を望むピロティの天井に反射する光のゆらぎを又見ることができる日を楽しみにしているのは私だけではないはずである。



【鎌倉支部 清田 鈴美子】

かながわ 平成29年11月号（通号411号）

発行 平成29年11月1日（奇数月1日発行）
発行人 白井 勇
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 西倉 哲夫
・ 広報情報委員長 杉本 勝郎
・ 広報情報副委員長 相原 聡
・ 広報情報委員 雨森 隆子 赤川 真理 小山 将史
・ 清田 鈴美子 田中 敦史 仙波 弦
・ 石川 勝彦 神尾 明美
・ 事 務 局 久保田 千尋



今月の表紙

万代会館

万代会館は、岡山県勝田郡の農家の二男として生まれ、青山学院に学び帝国銀行(三井銀行)取締役会長、ソニー取締役会長等昭和初期の経済界で活躍した万代順四郎が妻の没後、その遺志によって横須賀市に寄贈した津久井浜の屋敷である。ソニーの株券3万株の他、地元の小中学校4校と公民館に5千株を贈り、市当局はその遺志をくんで、文化財的な存在として茅葺屋根の保存も含めて、一帯を市民の憩いの広場として活用することを決めた。当時の横須賀市長横山和夫は「当横須賀市としても、たいへん名誉なことであり、横須賀市民の誇りとして、長く保存に留意するつもりである」と語っていた。この文化遺産を利用する人びとがこの会館の由来と引退後に老軀をむち打って大地を耕した忍耐力、不撓不屈の精神力、人びとに対する思いやりと愛情に深く思いを致してほしいと思う。(「種蒔く人 万代順四郎の生涯」石川英夫著より抜粋)



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association